

いこまタウン ミーティング

令和7年5月11日

北コミュニティセンター
ISTAはばたき



本日の流れ

I 市長からまちづくりについての説明

1. 生駒市の現状と課題
2. 生駒市のまちづくりビジョン
3. ビジョンを具体化する令和7年度予算
4. 北地区のまちづくり

II 質疑応答

I 市長からまちづくりについての説明



1. 生駒市の現状と課題



いきなりですが、想像してください

生駒市に住んで良かったことは、
何ですか？

市民が感じている、生駒市に住み続けたい理由

閑静な住宅地だから

自然環境が豊かだから

買い物など日常生活が便利だから

いまの住居に満足しているから

通勤・通学が便利だから

- 政府のSDGs未来都市(R1) に選定
- 小学校・中学校の学力は奈良県、全国と比較しても
トツプレベル
- 刑法犯罪認知件数・交通事故発生件数
(人口1,000人当たり)は県内12市で最少水準



SDGs未来都市
IKOMA



各種自治体ランキングでの高い評価

●シティブランド・ランキング (全国の働く世代2万人に「住みよさ」を調査)

奈良県 1 位 ・ 関西 1 0 位 ・ 全国 4 7 位

(回答者が20人以上の366市区をまとめたランキング)

(出典)住みよい街2024(日経BP総研)

●シビックプライドランキング (まちに対する愛着・誇り・共感・継続居住意向、他者推奨意向からスコアを出したもの)

奈良県 1 位 ・ 関西 7 位 ・ 全国 2 8 位

(関東圏と関西圏の人口10万人以上の151自治体中)

(出典)シビックプライド調査2024(読売広告社)

その結果…

子育て世代の転入超過（R5）：89人

（25歳～44歳）

（出典：住民基本台帳人口移動報告）

市内での定住意向率：88.9%

（出典：令和6年度生駒市市民実感度調査）

市民による推奨度：7年間で10%上昇

（出典：平成27年度生駒市市民満足度調査・令和4年度生駒市市民実感度調査）

一方で、課題も浮き彫りに ⇒

| 生駒市の課題（子育て支援・教育）

● 少子化の急激な進行

出生者数

1,011人(2013年) ➡ 610人(2023年)

(出典：奈良県保健衛生統計)

● 多様な学びの必要性

不登校者数(人口千人あたり)

小学校 8.0人(2019年) ➡ 24.0人(2023年)

中学校 37.1人(2019年) ➡ 58.0人(2023年)

(出典：教育指導課資料)

● 高齢化の急速な進行

高齢化率

25.4% (2015年) ➡ 29.7% (2025年推計) ➡ 37.6% (2050年推計)

(出典：生駒市人口ビジョン改訂版)

● 介護・認知症への不安

- ・ 要支援・要介護認定率は上昇傾向
- ・ 認知症高齢者数は2035年にピーク(約7,800人)を迎える

(出典：生駒市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画)

● 移動への不安

- ・ 「暴走老人」を契機に、自動車免許の自主返納機運高まる
- ・ 自家用車では移動ができない人の増加に対応するまちづくりが急務

●域外就業率が**高い**(働く場があれば地元に残りたいニーズに応えられていない)

生駒市 51.5%(全国4位) 王寺町 41.86% 三郷町 40.91%

(出典：令和2年国勢調査 就業状態等基本集計)

●共働き世帯の増加

- 25～39歳の女性労働者が大幅に増加
- それでも本市の女性就業率は全国や奈良県平均より低い
- 創業・兼業・テレワークなどの多様な働き方、地域での就労などの確保

●高齢者の就労拡大、若年層の激減

- 65歳までの雇用義務化(定年延長)
- 18歳人口の急減 → 雇用確保、デジタル化等による効率化

● 地震に対する備え

- 能登半島地震等による市民の防災意識の高まり、不安の拡大
- 東南海トラフ地震（30年以内発生確率80%程度）、生駒断層帯
→ 防災用備蓄などの整備率 30%以下

● 気候変動による影響

1日平均気温の年間平均(奈良県奈良市)

1993年	2023年
14.3℃	16.6℃

1日平均気温の月間平均（8月：奈良県奈良市）

1993年	2023年
24.6℃	28.9℃

<気象庁公表データより>

- 熱中症による健康被害 R3：約600人 R4：約1,000人

→ 脱炭素の施策優先度 24位

（出典：奈良県消防救急課報道発表）

課題に対応するための

2. 生駒市のまちづくりビジョン



新しい働き方を増やす

地域で働く人の増加につなげる
〔起業・創業、副業・兼業、地元で働く、
女性活躍、農業、観光、ニュータウン再生等〕

▶ 12万人全員をアントレプレナーに！

住む

住まい方を地域に広げる

個々の家だけでなく、地域一体となって、子育て・介護・防災・脱炭素、移動支援などの課題に対応

〔生駒版まちの駅、官民連携での子育て環境づくり、
地域共生社会、脱炭素、スマートシティ等〕

▶ 誰一人「お客さま」にしない！

働く

楽しむ

多様な暮らし方を創る・楽しむ

豊かな自然、公園、文化資産、公共施設など
地域資源の活用によって、滞在空間の増加につなげる

〔芸術祭や音楽祭、公園利活用、市民活動等〕

▶ まちをセルフプロデュースする！

多様な生き方・暮らし方が叶う豊かなまちに転換

生駒市のVision「自分らしく輝けるステージ・生駒」

「ベッドタウン」を卒業し、次の50年に向けた「令和時代の住宅都市」の実現

| 1. こども・子育て支援、教育

■産後ケア事業の充実

出産後、1年未満の母子に対して、安心して子育てができるよう、ショートステイ（宿泊型）、デイケア（通所型）を実施し、R7年度から新たにアウトリーチ（居宅訪問型）を実施

■産前産後ホームヘルプサービス

妊婦や産後1年未満の産婦を対象に、民間のホームヘルプサービスを利用できるクーポン（1,000円×20枚）を配布

■生殖補助医療・先進医療の治療費助成

一般不妊治療に加え、生殖補助医療（体外受精・顕微授精等）や保険適用外の先進医療についても補助対象とし、不妊に悩む夫婦等の経済的負担を軽減

■壱分幼稚園のこども園化

令和9年度の開園に向けて壱分幼稚園園舎の解体工事等を実施

1. こども・子育て支援、教育

■キャリア教育・多様な主体との深い学び

- ✓ 企業・大学・地域などの多様な主体との連携によって、子どもたちが「ホンモノ」に触れる機会の提供や、学校や教育委員会だけでは実現が難しい学習環境を実現
- ✓ 学校と地域が共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える

(例) 奈良先端科学技術大学院大学による出前講座
ベンチャー企業によるSDGs授業
教科の勉強をもっと面白くするアイデアプレゼン大会



■不登校支援の推進

- いきいきほっとルーム、のびのびホットルーム両施設とも、小学生・中学生が利用できるよう対象を拡大
- 市立小・中学校10校に校内サポートルームを設置
 - ✓ 教室らしくない教室、自分のペースで学べる空間
 - ✓ 学びの創造につなげるICTの活用
 - ✓ 自分の好きを見つける体験活動



| 1. こども・子育て支援、教育

■小・中学校屋内運動場空調設備整備事業

熱中症対策及び避難所の環境整備のため、小・中学校の全ての屋内運動場への空調整備を実施



■オーガニック給食の実施

地産地消や環境への負荷を考える取組の一環として、オーガニック給食を体験する日を設定

2. 地域共生社会の実現

■生駒市立病院開院10周年

- H27年6月 開院
 - R6年4月 生駒地区医師会に加入
 - R7年6月 10周年
- 令和9年4月から**20床増床**予定

(主な実績)

- 分娩数 246件(R5年度)
- 救急件数 3,163件 応需率 95.1%
- 他病院に先駆け、コロナ専用病床を整備し、積極的に受入れ
- 経営の黒字化



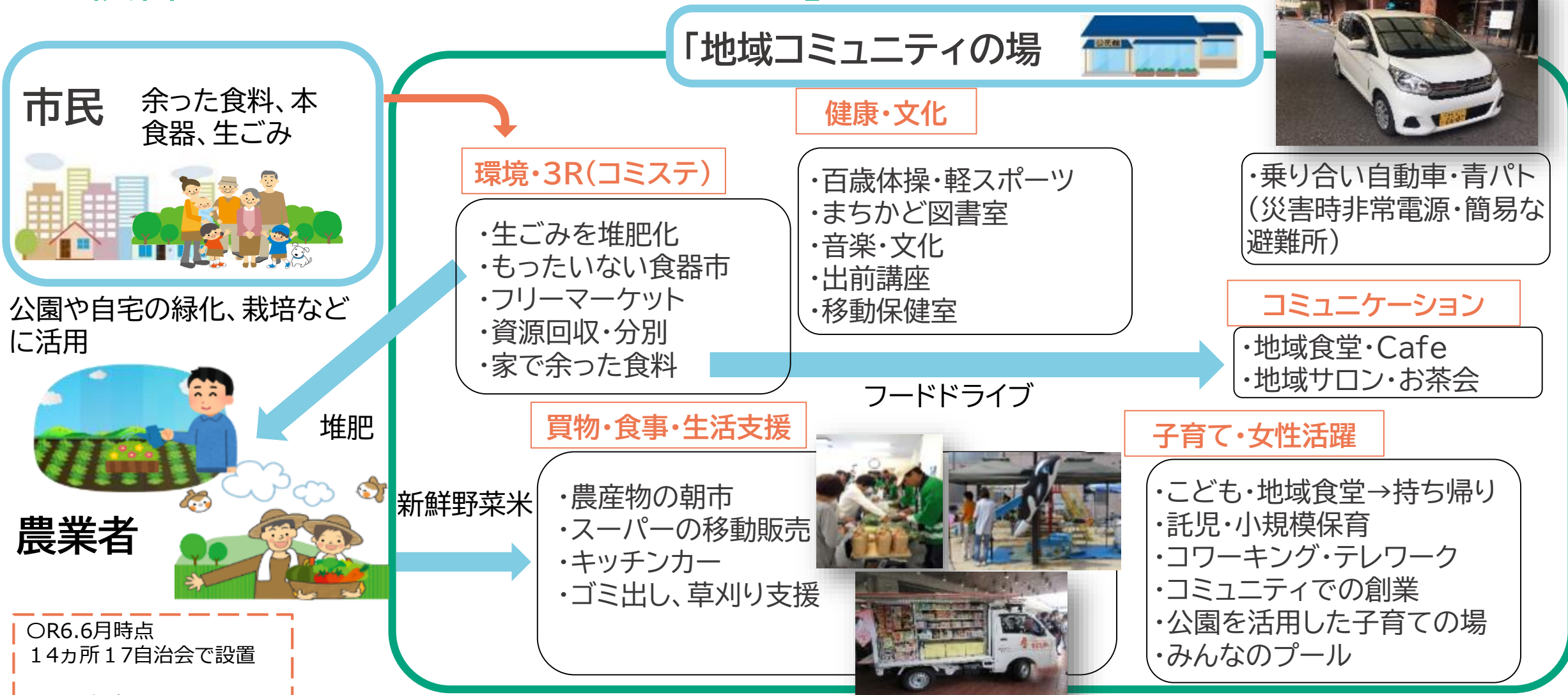
公益財団法人 日本医療機能評価
機構による「**病院機能評価**」の
認定を取得

■生駒市立病院開院10周年式典

令和7年6月15日（日） 午前9時30分から たけまるホール

2. 地域共生社会の実現

■複合型コミュニティ「まちのえき」



地産地消、移動支援、地域活性化を、地域の協創で実現！

3. 経済の活性化

■ IKOMA LOCAL BUSINESS HUB (ILBH)

- ・ 創業・第2創業、パラレルキャリア(複業)の支援
- ・ 2年連続で**100名以上**の受講希望者
- ・ これまでで**5件**の起業・創業につなげる



■ 市内中小企業の人材確保等総合支援事業

- ・ 深刻な人材不足を課題として抱えている市内中小企業を総合的に支援
 - ✓ 専門人材とのマッチング支援
 - ✓ 人材採用・人材育成にかかるコストへの補助金／賃上げした事業者への補助金

■ 大阪・関西万博2025への出展

- ・ 奈良先端科学技術大学院大学との連携によるブース出展
- ・ 「お茶」をテーマとした県外市町村との連携による出展
- ・ 生駒中学校吹奏楽部と天理大学雅楽部によるコラボ演奏
- ・ 対馬ウィークでの島・都市のこどもたちの交流学習



4. 防災対策

■総合防災システムの導入

- ・ 災害情報を収集・分析・共有し、一元管理が可能となる本市独自の「総合防災システム」を導入し、4月から始動
- ・ 災害発生時の正確な被害情報の把握、避難所情報の閲覧、迅速な対応方針の決定、災害情報の発信等の効率化を図る



■総合防災訓練の実施

- ・ 災害対処能力の強化を図るため、市民や関係機関との合同訓練を実施
- ・ 災害対策本部訓練、避難所設営訓練、防災マルシェ、避難所宿泊訓練、防災講演会、帰宅困難徒歩訓練 等

■避難行動要支援者管理システムの導入

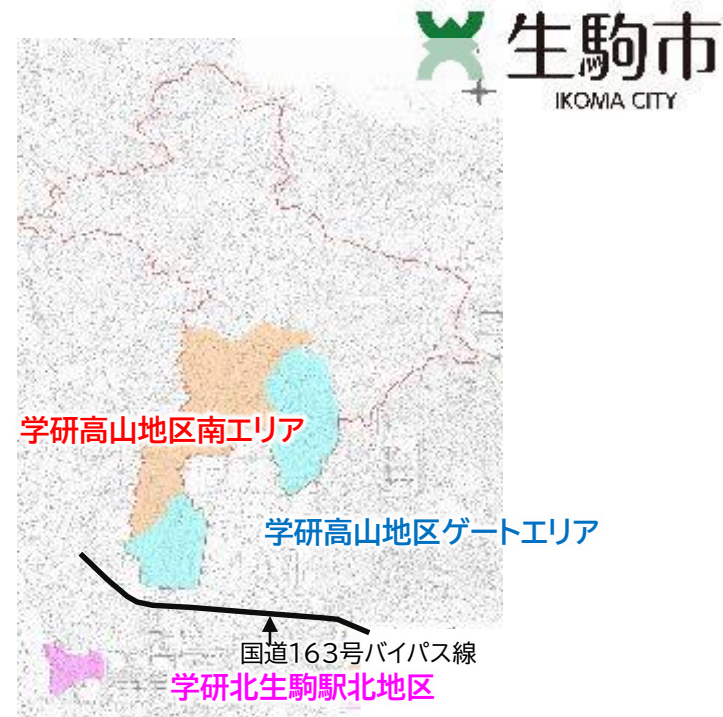
- ・ 避難時に支援を要する高齢者等における個別の避難計画を作成するにあたり、オンライン上で作成
- ・ 将来的に安否確認や避難所運営、被災者支援システム等との情報連携を担保

■段ボールベッド、パーティション等の避難所資機材の充実

5. まちの拠点形成

■学研高山地区第2工区のまちづくり

- 学研高山地区南エリア
R 8年度の**事業認可**に向けて土地区画整理準備組合の運営
- 学研高山地区ゲートエリア
土地区画整理準備組合の設立に向けてまちづくり協議会の運営
- 学研北生駒駅北地区
R 7年度中の**事業認可**に向けて土地区画整理準備組合の運営



■生駒山を通じた観光振興

生駒山を西の高尾山に

- 東大阪市、観光関連団体、生駒市で構成する「生駒山ブランド推進協議会」
- 生駒山上遊園地にフォトスポット、山頂プレートを設置し、**「山のとっぺんの映えスポット」**に
- 生駒駅南口参道周辺を市の玄関口及び宝山寺の門前町にふさわしいにぎわいと趣のある街並み空間として景観づくりを進める



6. デジタル化など施策を支える各種取組

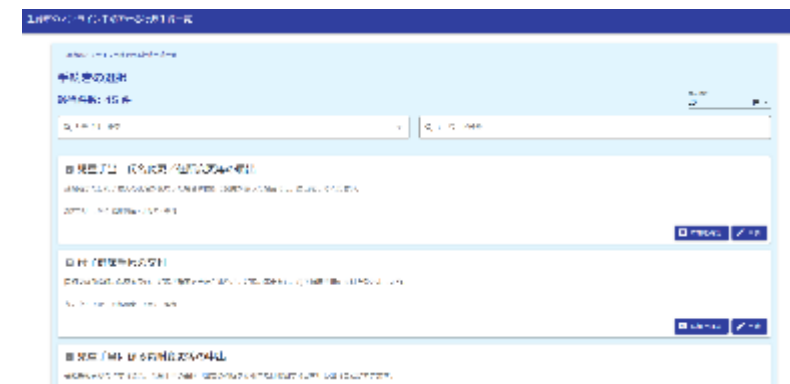
デジタル化

■ 施設予約システムの構築

- 生涯学習施設、スポーツ施設、学校体育施設の利用に当たって、オンラインで予約申請、キャッシュレスで利用料の支払いができる予約システムを構築し、R7年度中に運用開始予定

■ オンライン申請できる行政手続一覧の市HP開設

- 市の行政手続でオンライン申請ができる手続を掲載
- 手続は順次拡大予定



SDGs

■ 脱炭素住宅都市モデルの実現（脱炭素先行地域）

- 国からの補助金を活用し、萩の台住宅、ひかりが丘をモデル地区とした既存住宅地、公共施設、自治会集会所及び民間施設に太陽光発電設備と蓄電池の設置促進
- 災害時の防災対策にもつながる

広報・広聴

■ eー広聴プロジェクト（デジタルききみみポスト）

- 「いつでも」「どこでも」「簡単に」意見が言えるシステムを導入し、政策に活用

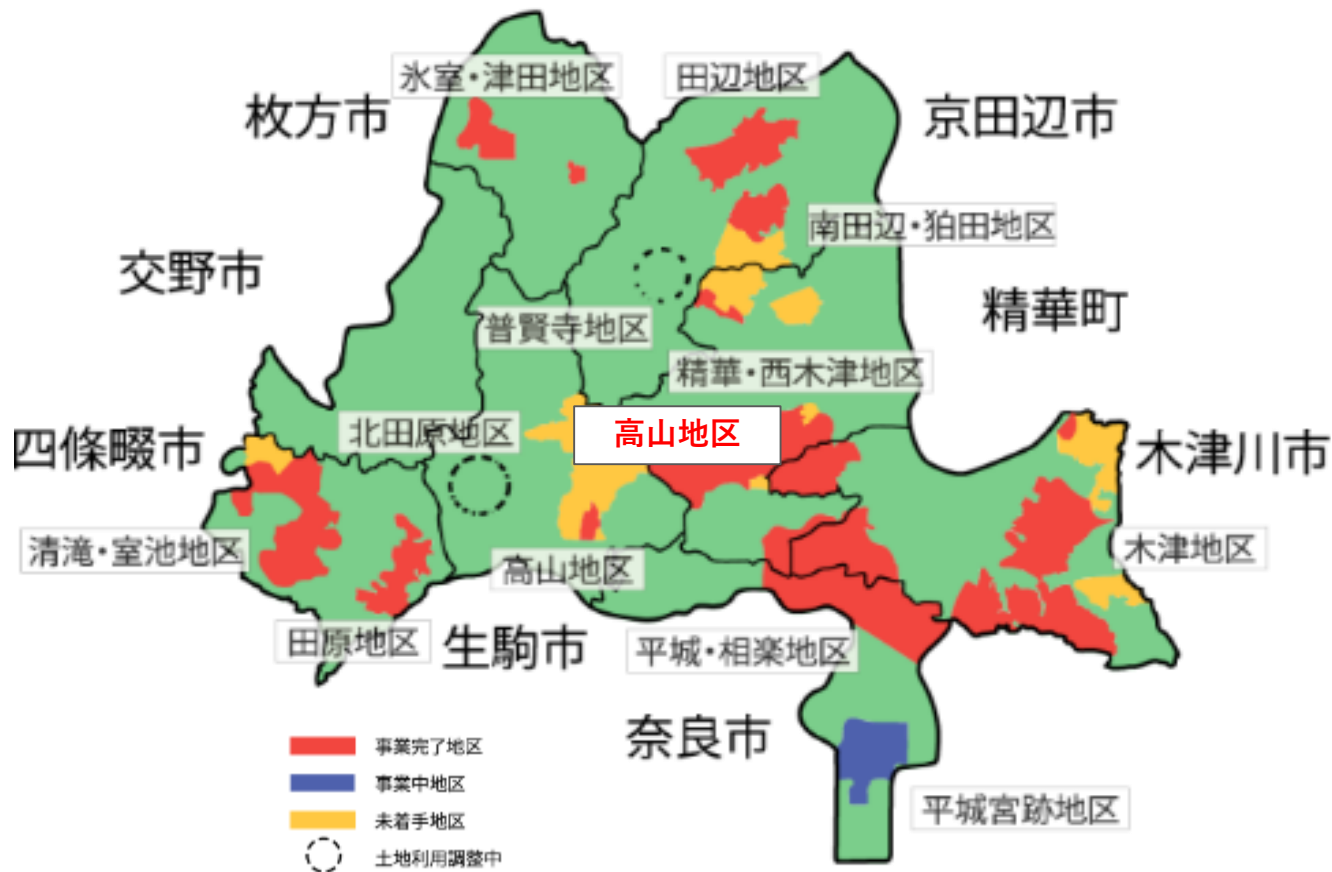
4. 北地区のまちづくり



関西文化学術研究都市とは

- 昭和62年施行の関西文化学術研究都市建設促進法に基づく「**国家プロジェクト**」

各クラスターの整備状況



➤ 総面積約15,000haに**12のクラスターを分散配置**

➤ 150を超える研究施設、大学施設、文化施設などが立地

(出典: 関西文化学術研究都市推進機構パンフレット)

| 学研高山地区について

- 学研高山地区第1工区

区域面積: 45ha

平成3年10月 奈良先端科学技術大学院大学が開学

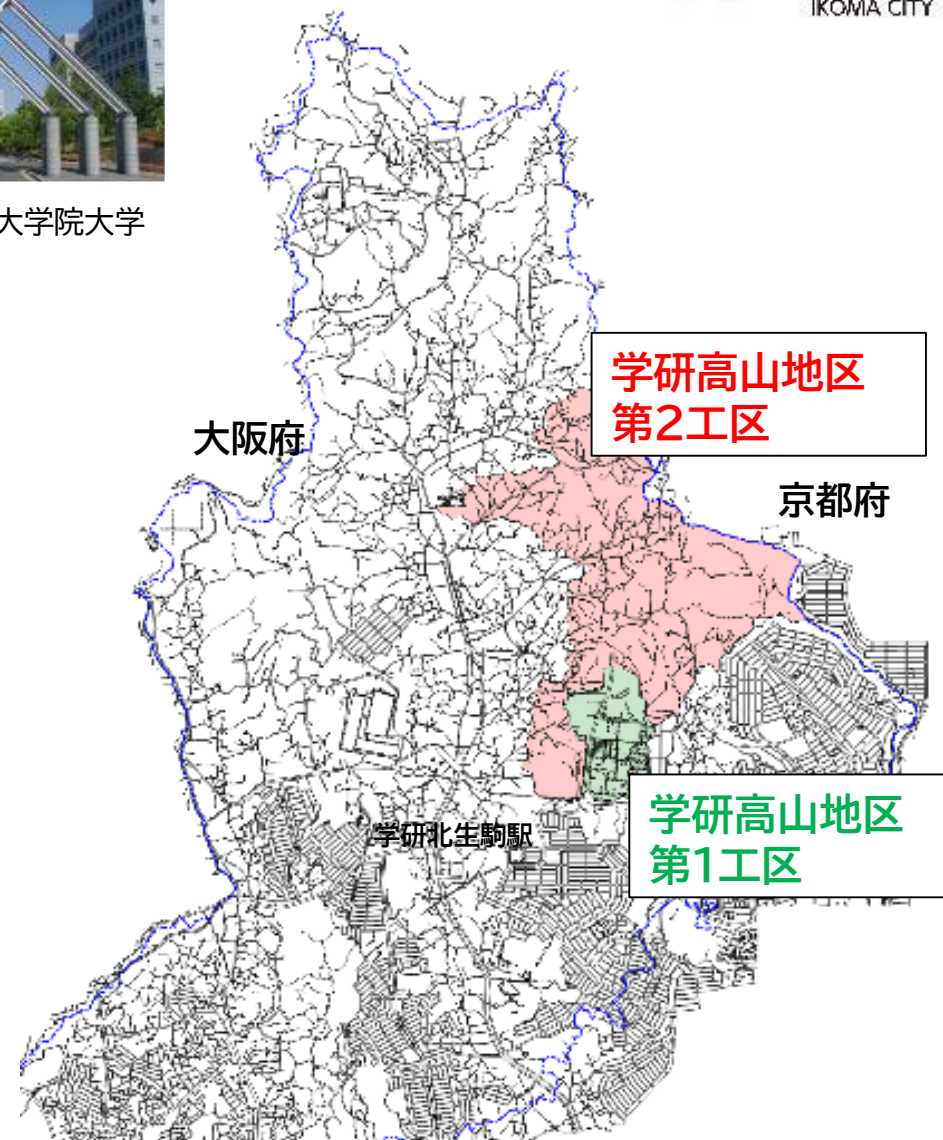
平成5年2月 基盤整備を完了

- 学研高山地区第2工区⇒未着手

区域面積: 288ha



奈良先端科学技術大学院大学



| 学研高山地区のこれまでの経緯

平成 8年 住宅・都市整備公団が用地を買収

平成 9年 7月学研高山地区に第2工区(288ha、2万3千人の住宅開発計画)を追加

~~~~~  
平成19年 7月 UR都市機構が事業中止を決定(社会経済+政治情勢等により事業化せず)

~~~~~  
平成28年 3月 生駒市とUR都市機構が所有地(約160ha)譲渡契約締結

8月学研高山地区第2工区のまちづくり検討有識者懇談会設置

平成29年 9月 学研高山地区第2工区有識者懇談会とりまとめ

平成30年11月 学研高山地区第2工区地権者の会設立

令和 元年10月 学研高山地区第2工区まちづくり検討会設置(～令和4年5月)

令和 4年 6月 学研高山地区第2工区マスタープラン策定

11月 学研高山地区第2工区事業推進会議設置(奈良県参画、国オブザーバー参加)

令和 5年 5月 学研高山地区南エリアまちづくり協議会設立

令和 6年12月 学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合設立

令和 6年12月 学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会設立

学研高山地区第2工区マスタープラン(抜粋) 令和4年6月策定

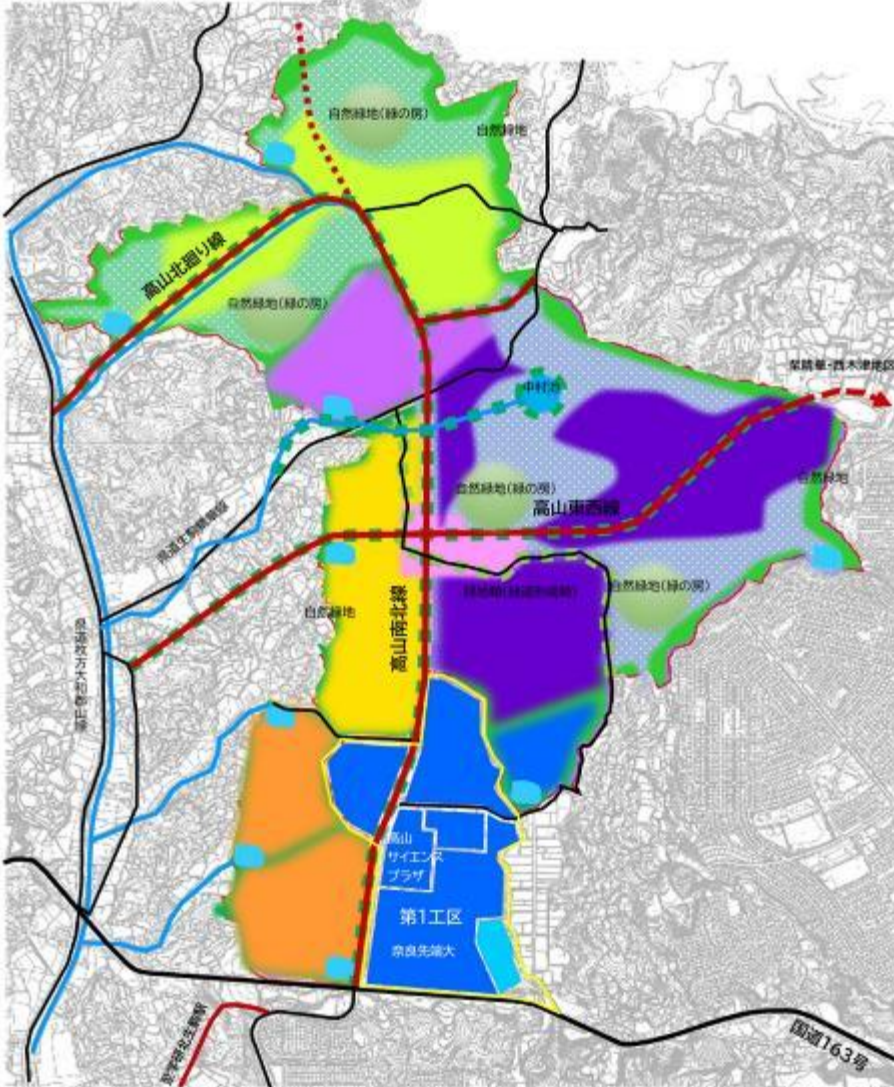
『奈良先端大学を中心に産学官民の連携による
“オープンイノベーションを創出”するまちづくり』
～最先端と自然・文化が共生する新たな時代の都市に向かって～

まちづくりに向けた基本的な考え方

- 時代のニーズに柔軟に対応しつつ、地権者や民間事業者の多様なニーズに合わせた様々な機能が集積する複合市街地を順応・段階的に形成していく
- 「人口2万3千人の住宅中心の土地利用」から「産業施設を中心とした土地利用」に転換
⇒計画人口を概ね5千人に設定
- 産業、文化・教育、商業・業務施設などの機能が集積する「多機能複合市街地」の整備

R6. 2作成

第2工区全体土地利用計画図



デジタルインフラ ・超スマート社会の実現に資する、IoT や AI、ビッグデータ等 IT 技術の基盤を支える電力や通信網などデジタルインフラの整備・強化を促進する。

これまでの各種の検討結果を踏まえ、『学研高山地区第2工区全体土地利用計画』としてとりまとめ。

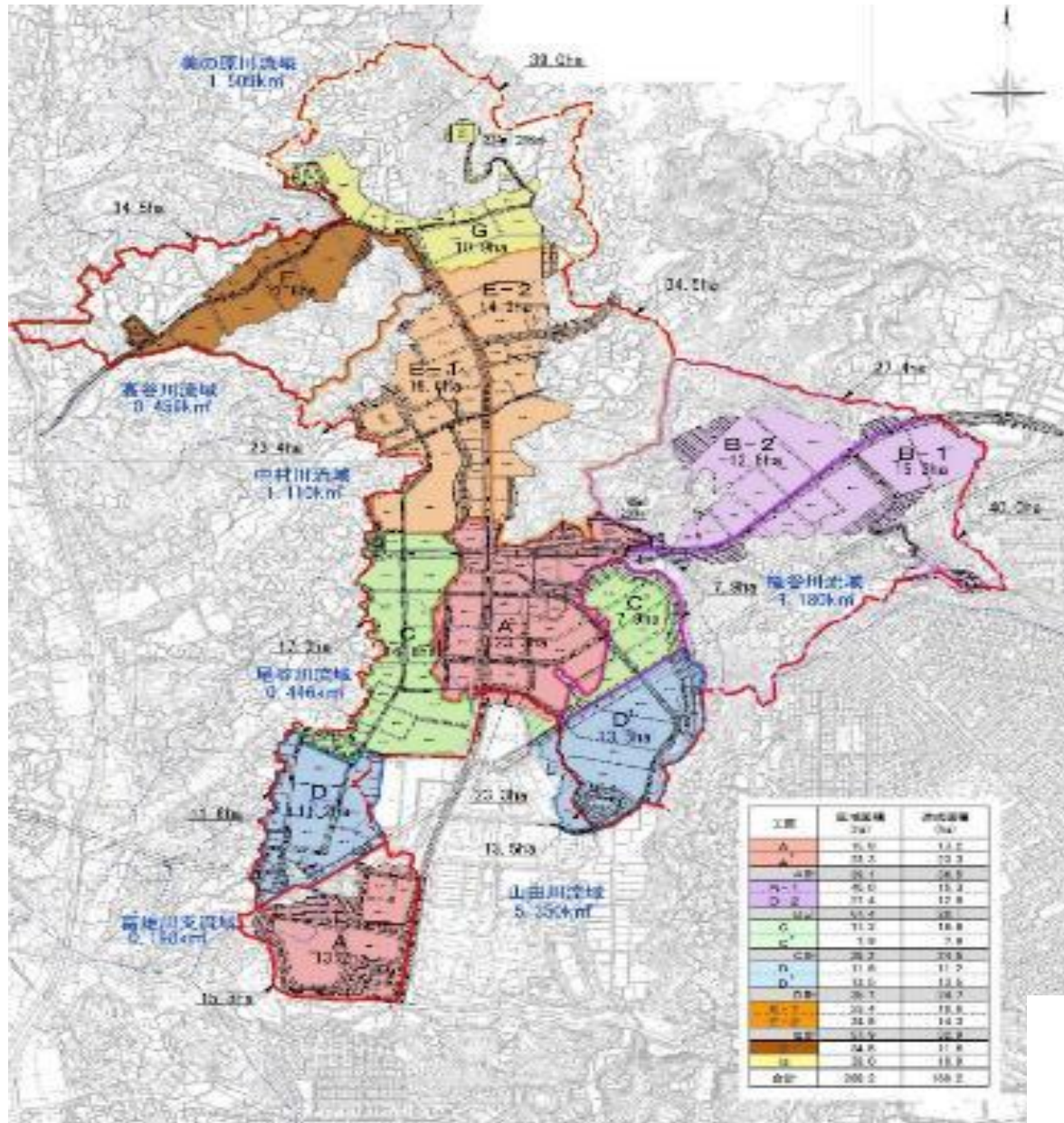
各個別地区の計画に際しては、本土地利用計画の考え方を
 基に、地権者への意向調査結果や事業アドバイザーからの
 意見、立地等検討企業の業種等に留意のうえ作成

土地利用種別					
自然活用型 施設用地					
自然活用型 産業施設用地					
計画建設用地 (自然的)					
文化學術研究 施設用地					
都市型産業 施設用地					
計画建設用地 (都市的)					

土地利用種別			
研究支援・研究型産業施設用地			
都市機能施設用地			
住宅用地 (低層・中高層)			

土地利用種別	
骨格道路 (補助幹線道路) (区画道路) (歩行者専用道路) 既設道路	 
公園・緑地 自然緑地 (グリーンインフラ)	  
河川・農業用水路 既存池 調整池 (グリーンインフラ)	  

段階的整備（学研高山地区第2工区マスタープラン）



- 土砂の切り盛りなどの合理化等にも留意しつつ、民間事業者の参画可能な規模となる複数の工区を設定（1区画30-50ha）
- 需要・ニーズを踏まえ、工区ごとに順次段階的に整備
- 全体のバランスは事業推進会議などで随時検証

工区割りイメージを踏まえた
造成計画図の一例

学研高山地区南エリアの概要



地区の概要

施行予定区域面積 : 約47ha

区域内権利者数 : 135名(代表者) R6.12時点

これまでの経過概要

令和5年

5月 まちづくり協議会設立

11月～ 地権者意向調査の実施

12月 土地区画整理に関する勉強会・相談会



令和6年

7月～ まちづくりのテーマ、基本構想案
基本計画図案

10月 準備組合設立に向けた説明会

12月 事業協力者選定委員会

(株)フジタを選定



学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合設立総会

学研高山地区南エリア基本構想

学研高山 南エリアからつながるまちづくり ～ 世界に向けて Takeoff!! ～

住宅ゾーン(低層・中高層)

[目指す空間像]

- 住民が企業の研究開発に実証実験的な役割で参加する居住実験都市の実現
- ICT等を活用したスマートなライフスタイルの実現
- 子育て世帯や高齢者まで、あらゆる人が快適に住み続けられる次世代型居住環境の形成

[導入例]

次世代型戸建て住宅・中高層集合住宅・スマートタウン など



プレミスト平和台 ZEH-M 出典：大和ハウス工業HP

研究支援・研究型産業ゾーン

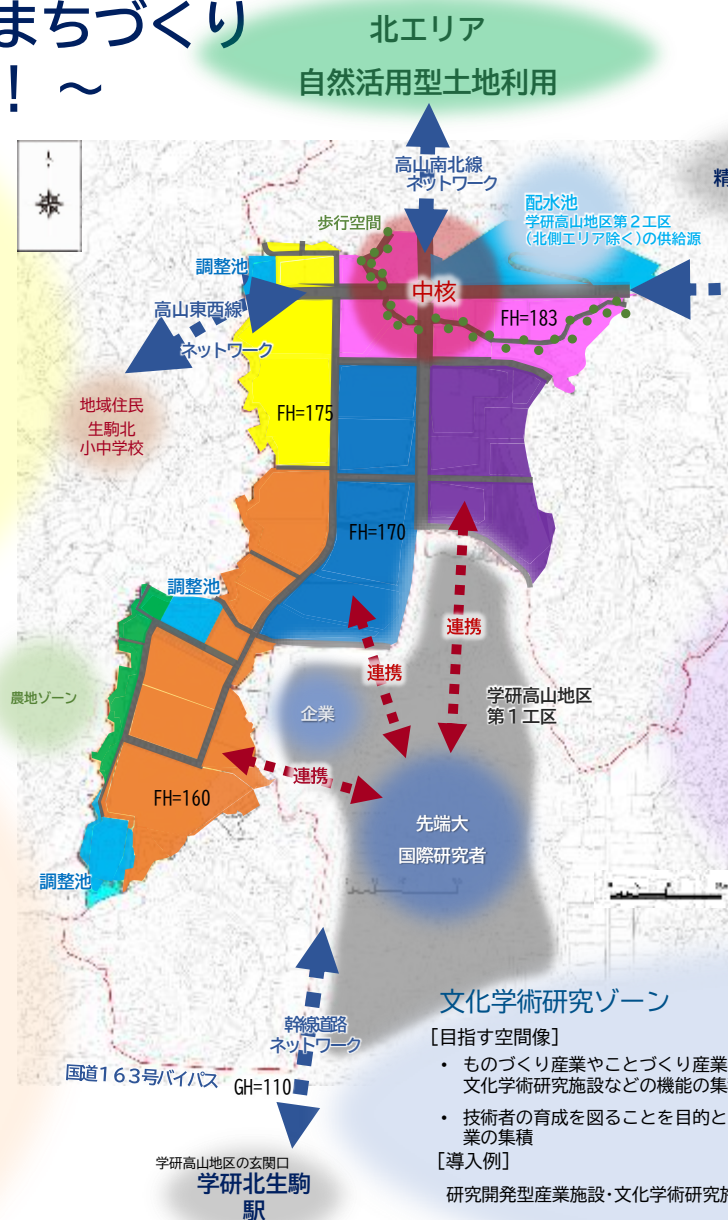
- 研究成果の実装・実証実験を行う場の創出
- イノベーションの創出、研究開発を支援するバックアップ拠点の創出

[導入例]

研究開発型産業施設・データセンター など



データセンター
出典：NTT データセンターの成長戦略



都市機能集積ゾーン

[目指す空間像]

- 周辺クラスター地区との連携による、相乗効果を生み出す学研高山地区の中核
- ライフステージの変化や新しい生活様式に対応することができる生活利便施設等の集積・誘導
- 人と人が交流する賑わい空間の創出

[導入が望まれる機能]

商業施設・医療機関・公共的空間 など



町田南グランベリーパーク
出典：南町田拠点創出まちづくりプロジェクト
新たな商業施設の姿

都市型産業ゾーン

[目指す空間像]

- 研究・イノベーション開発の拠点となる研究開発型産業施設の集積
- 文化・学術・研究の成果を活かす産業施設、ものづくり産業施設の集積

[導入例]

研究開発型産業施設・ものづくり産業施設 など



産業用ロボット
出展：FAロボット.com
(キーエンス)

文化学術研究ゾーン

[目指す空間像]

- ものづくり産業やことづくり産業、新しい価値を創出する場としての文化学術研究施設などの機能の集積
- 技術者の育成を図ることを目的とした施設の誘致やスタートアップ企業の集積

[導入例]

研究開発型産業施設・文化学術研究施設 など



国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)
出典：ATR HP

※ 基本構想(案)の内容は、イメージであり確定したものではありません。



地区の概要

施行予定区域面積 : 約43ha

区域内権利者数 : 113名(代表者) R6.12時点

これまでの経過概要

令和6年

12月

学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会設立総会

今年度、基本構想案、基本計画図の作成を行う



立地施設の方向性について

<本地域の強み>

奈良先端科学技術大学院大学の存在

大消費地に近い／大阪に近い／交通の便が比較的良い

災害リスクが比較的小さい

関西電力変電所・送電網の存在 ⇒ これらを活かす施設立地・誘致

➡ 他と同じような施設だけでなく、本市の強みや課題を踏まえた独自の施設誘致を目指す！



<我が国の西の拠点・副首都をけいはんなに>

○我が国の西の拠点・副首都 → 首都圏発災時のバックアップ

○スタートアップの聖地 → 世界有数の学術研究機関NAISTとDCを核にスタートアップを集積

○世界の中での存在感を持つ地域

→ 関空から1時間強・リニアや北陸新幹線、163号線の整備 / 海外の研究所や人材も受け入れ

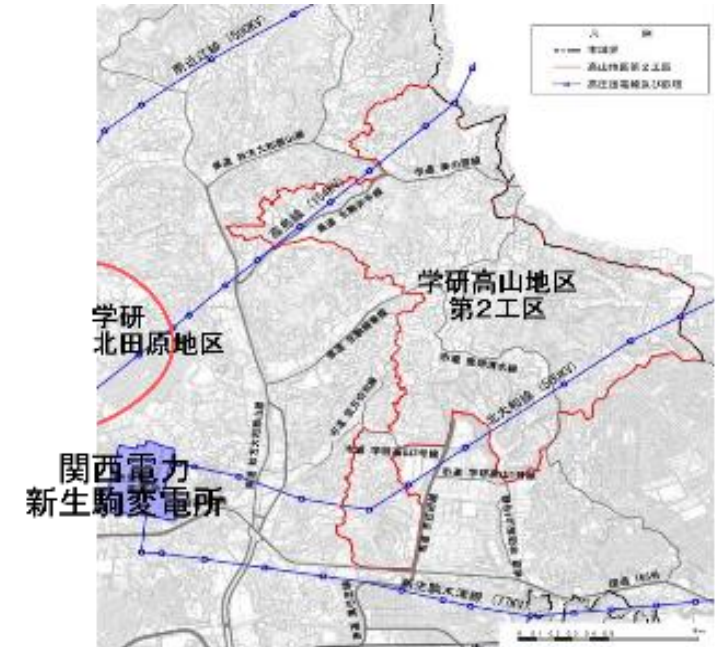
○温かみのある「スマートシティ」 → 最先端技術と文化・伝統・歴史、周辺の人々の暮らしをつなぐ

関西文化学術研究都市のビジョン

○世界の知と産業を牽引する都市

○持続的にイノベーションを生み出す都市

○科学・生活・文化・自然環境が融合する持続可能都市



生駒市北部地域に位置する新生駒変電所

<国の施策・方針>

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(2024改訂版)」

AIの計算能力を国内に保有することは、経済安全保障の点からも重要であり、
データセンター等の国内立地、投資拡大が急務である。

「第6期科学技術・イノベーション基本計画」

総合知の活用による社会実装、エビデンスに基づく国家戦略の見直し・策定と研究開発の推進”が掲げられている。

“(国家戦略:AI技術、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル、宇宙、海洋、環境エネルギー、健康・医療、食料・農林水産業等)”



- 国における国内投資促進の分野(半導体・蓄電池・バイオ産業等)やGX国家戦略の展開としてのデータセンターの立地を見据える。
- 国における科学技術・イノベーション政策(国家戦略分野の施設立地)を踏まえたものとする。

<電力・情報通信インフラ＝データセンターなどの整備>

昨今のAI技術の進歩により、データセンターのニーズがさらに上昇 → 新時代に不可欠な社会インフラ

- 近傍に変電所が立地、特別高圧電力の送電網。安定した電力供給可能
 - 丘陵地であるため災害リスクが低い
 - 大消費地に近く、データ処理の遅延が少ない
- ⇒ デジタル・AI関連施設やDC省エネ研究機関の誘致にプラス、NAISTとのシナジーが大きい、固定資産税収入増加
- ⇒ 景観確保、雇用は多くないので関連企業の誘致と1セットが基本

<農業とAI・デジタル・観光との融合など>

- NAISTのバイオ技術を含むAIやデジタル技術と農業の融合（農業ロボット、植物工場、フードテック）
- 農業と食、観光農園、農福連携など、北部地域における農業×〇〇

<防災・脱炭素・SDGsなど>

- 生駒市は国から「環境モデル都市」「SDGs未来都市」に選定された都市
- 全ての家がPV・蓄電池・EV、ZEBを持つ、スマートハウスの整備
→ 災害にも強く、健康にもプラス
- 地域内での資源・エネルギーの高度な循環のモデル地域



SDGs未来都市
IKOMA



航空写真(令和2年撮影)

地区の概要

施行予定区域面積 : 約6.1ha

区域内権利者数 : 26名(代表者) R7.3時点

これまでの経過概要

- | | |
|---------|-------------------------|
| 平成27年1月 | 「学研北生駒駅中心地区まちづくり構想」作成 |
| 令和2年 7月 | 学研北生駒駅北地区まちづくり協議会設立 |
| 令和2年～5年 | まちづくり協議会運営委員会(第1回～第14回) |
| 令和5年11月 | 学研北生駒駅北地区基本計画図(案)作成 |
| | 事業化検討アドバイザーに近鉄不動産(株)を選定 |
| 令和6年 6月 | 学研北生駒駅北土地区画整理準備組合設立 |



準備組合設立総会

学研北生駒駅北地区まちづくり方針（令和3年7月）

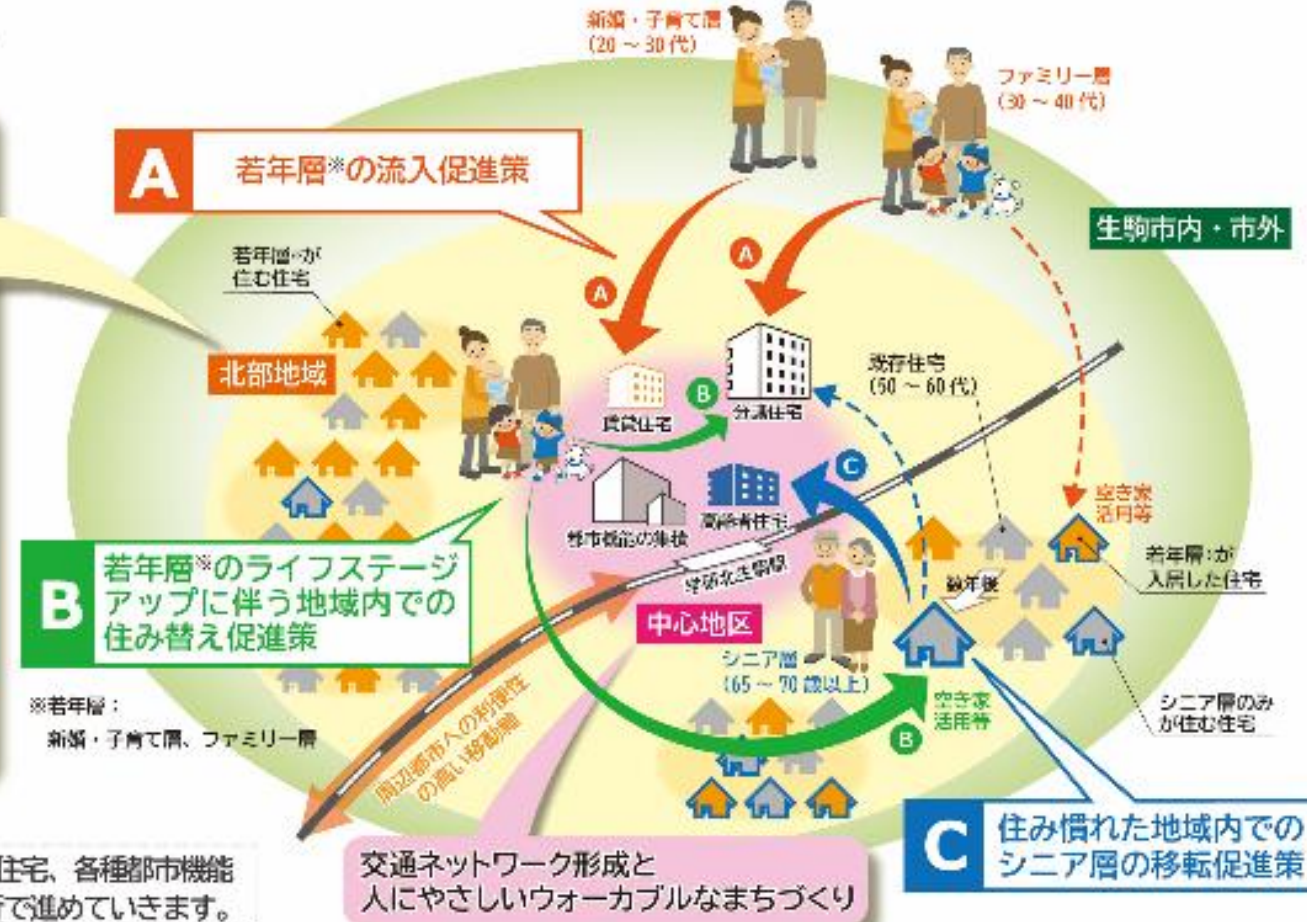
<基本方針イメージ>

- ① 学研都市の玄関口・北部地域の拠点に求められる都市機能の導入と周辺地域との一体的なまちづくり
- ② 交通ネットワーク形成と人にやさしいウォカブルなまちづくり(駅北側の空間・道路の整備など)
- ③ 周辺地域の自然環境・歴史文化と調和したまちづくり
- ④ 次世代につながる環境にやさしい低炭素化・スマートシティを目指したまちづくり
- ⑤ 住まいの循環サイクルの構築による住み続けられるまちづくり

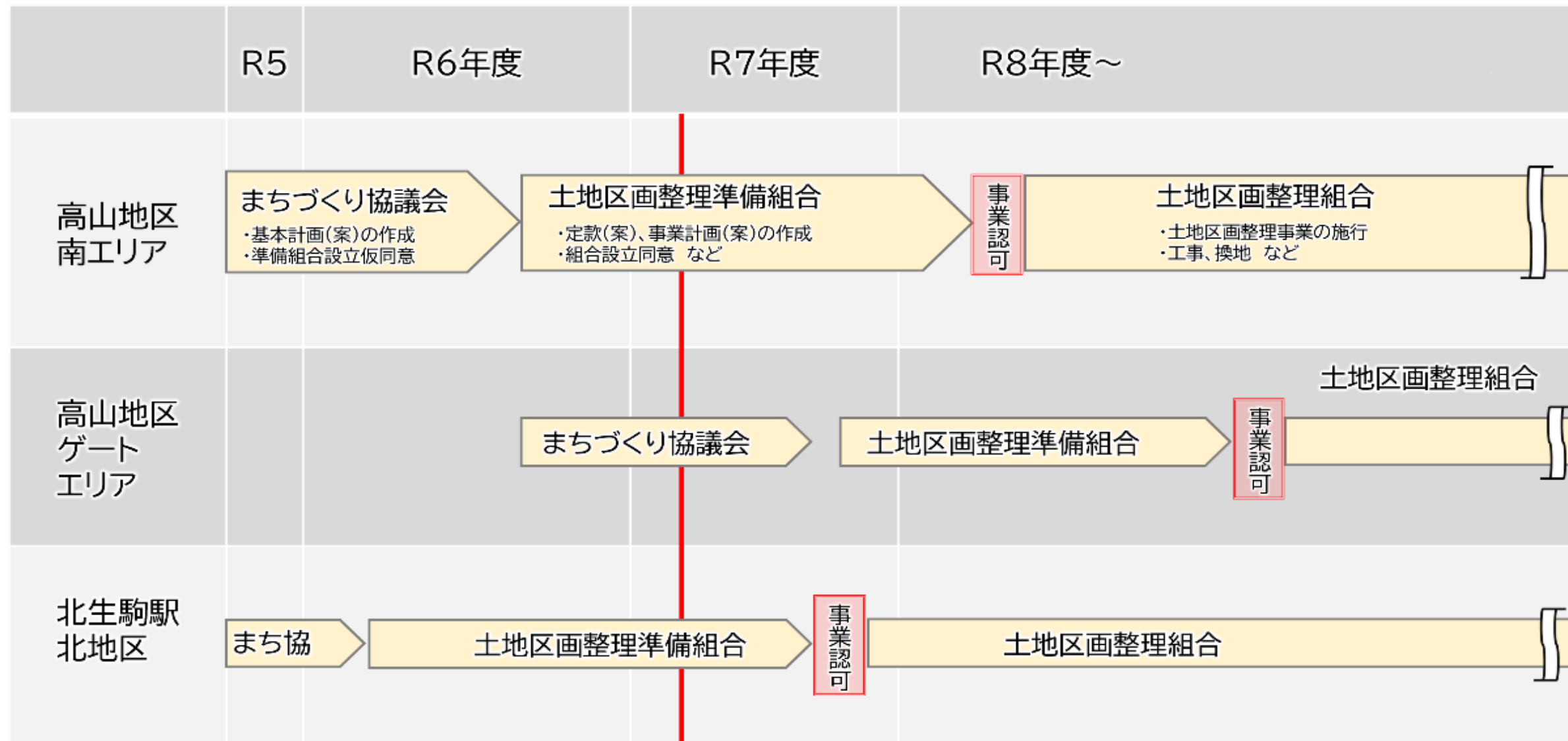
〈北部地域の多様な主体との連携による
北部地域の資源を活かした取組み例〉



中心地区に受け皿となる賃貸住宅と分譲住宅、各種都市機能施設を整備した上で、A、B、Cを同時進行で進めていきます。



事業スケジュール（目標）



現在

| 学研高山地区第2工区のまちづくりへの思い

- 学研高山地区第2工区は、これまで整備が遅れた分、今の最先端技術と社会変化に対応した「**一周遅れのトツプランナー**」を目指す！
- 学研高山地区第2工区は、**これからの本市の未来・発展に向けた最重要課題**として、必ずやり抜く！
- 学研高山地区第2工区だけが盛り上がるのではなく、周辺地位、北地区、生駒市、奈良県、関西、日本全体の発展につなげ、**国際的にも輝くまちづくり**を進める！【ポスト万博シティ】

清滝生駒道路（国道163号）の事業進捗状況

清滝生駒道路の工事進捗状況【令和7年3月末現在】



国道168号線跨道橋下部工（R7.3月撮影）



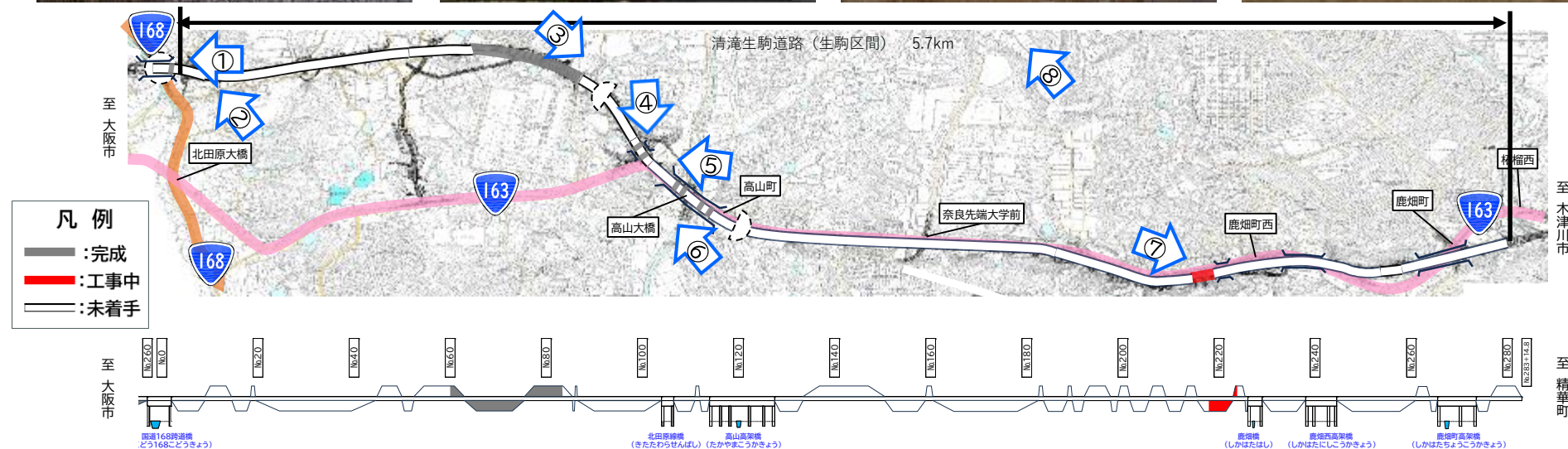
北田原跨道橋下部工（R7.3月撮影）



北田原東地区から東へ望む（R7.3月撮影）



北田原線橋A2下部他工事（R7.3月撮影）



北田原線橋A2下部他工事（R7.3月撮影）



高山高架橋下部工（R7.3月撮影）

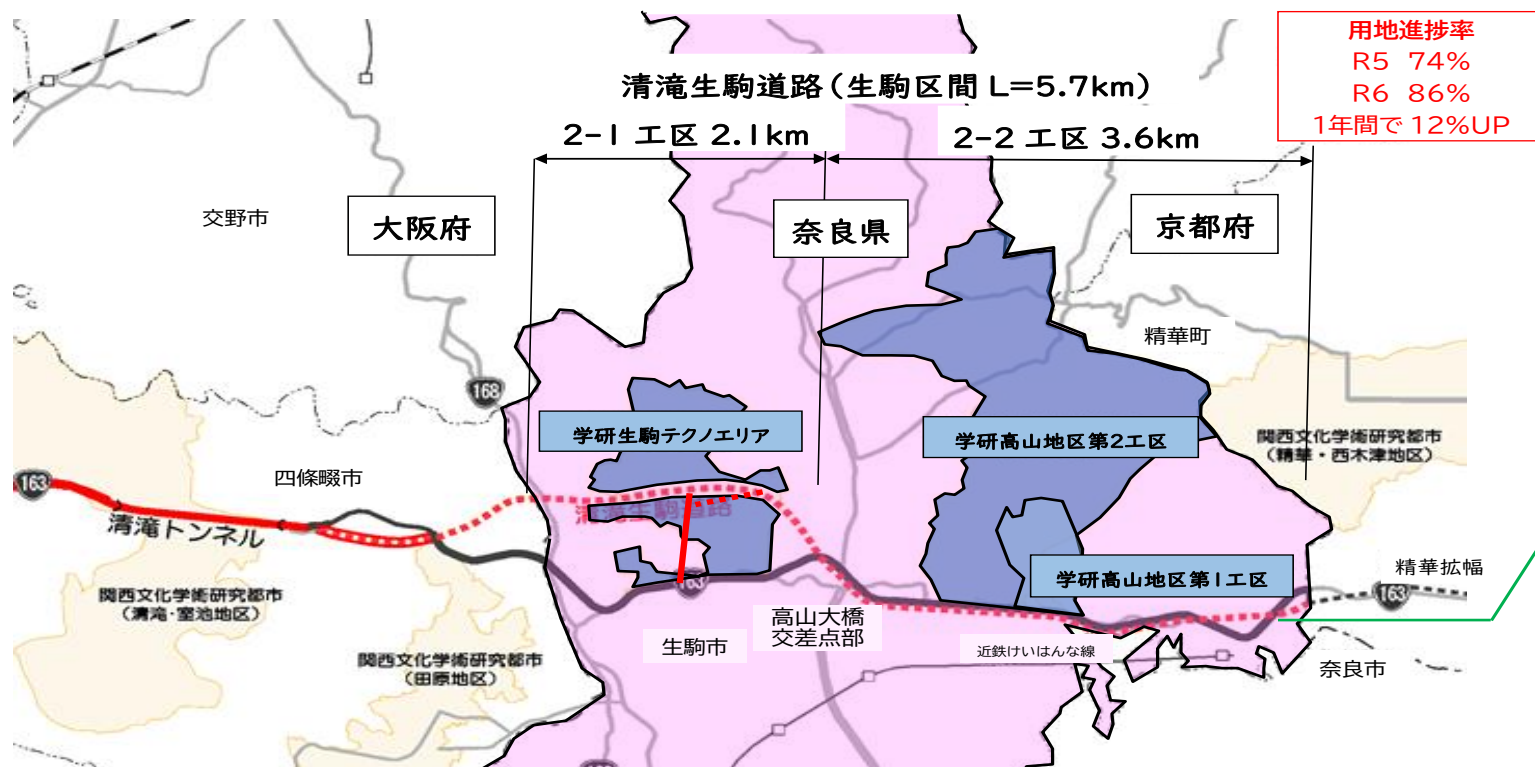


鹿畑西改良他工事（R7.3月撮影）



高山町土砂仮置場（R7.3月撮影）

一般国道 163 号清滝生駒道路の整備について



混雑状況写真（鹿畑町交差点の様子）



課題

1. 生駒区間は依然として交通混雑が発生
2. 大阪側の清滝区間と京都側の精華拡幅は、事業が本格化

生駒市の要望

生駒区間の早期完成！

1. 生駒区間をボトルネックにしない
2. 2-1 工区と 2-2 工区の同時整備を
3. 予算の継続的な確保
4. 国道事務所の人員体制の強化

整備効果

持続的な経済成長の礎となるエリア創出！

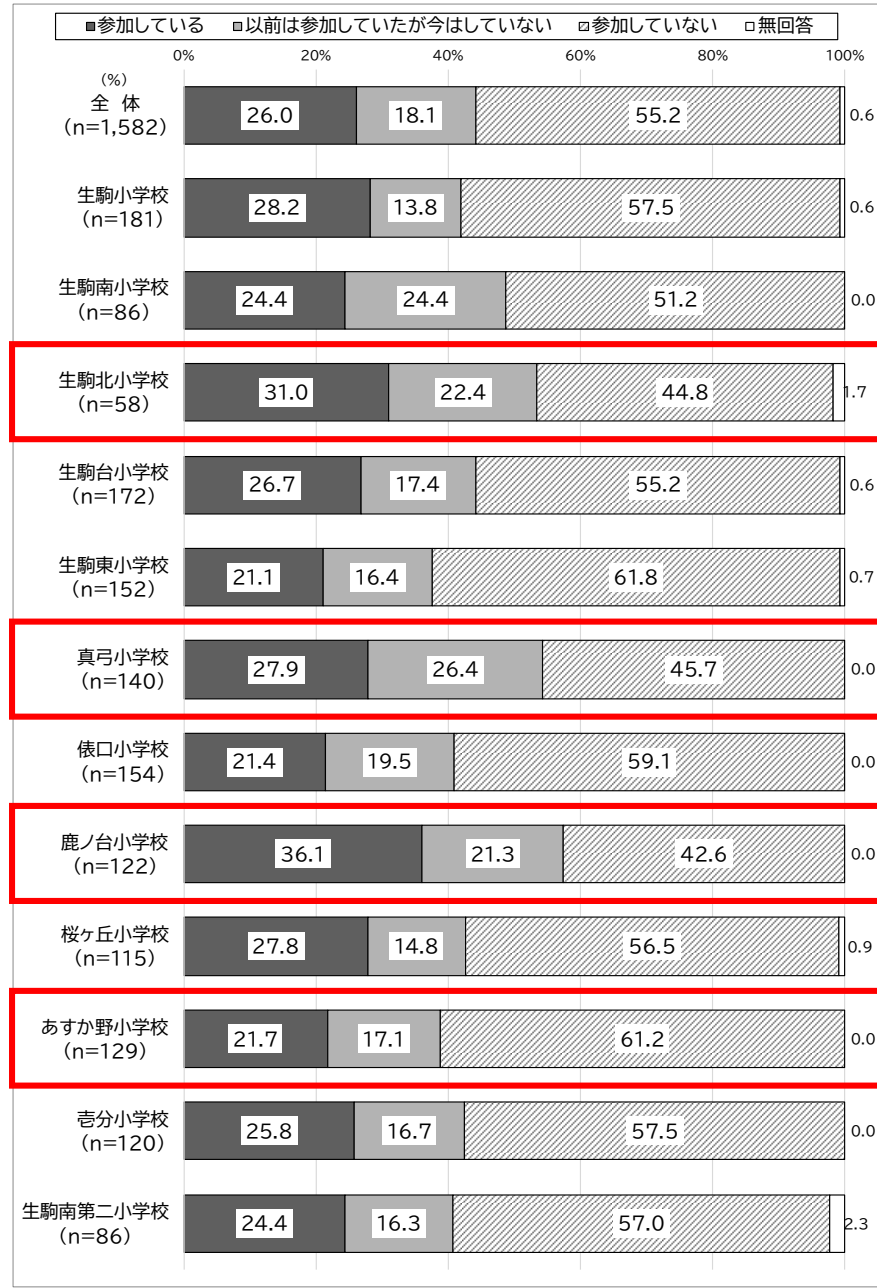
1. 世界の知と産業を牽引する“けいはんな学研都市”（学研高山地区）の発展
2. ポスト万博シティへのアクセス向上
3. 四條畷市東中野 から生駒市鹿畑 までの所要時間⇒最大 22 分短縮！（33⇒11 分）
4. 学研生駒テクノエリア（学研北田原地区）への企業集積

学研高山第 2 工区

- R8 先行開発地区の事業認可
R13 工事完了 まちびらき ※目標

- ・一般国道 163 号は、北田原、高山、精華・西木津のクラスター間を連携する重要道路！
- ・早期の 163 号の開通による円滑な企業立地（企業投資の拡大）
- ・内陸部で災害に強く、大都市近傍の立地を活かしたデータセンターの国内立地拠点の創出（“デジタル田園都市国家構想”の実現に寄与！）
- ・奈良先端大を中心に研究開発型産業施設の集積による“第 6 期科学技術イノベーション政策”を推進！

さいごに 北地区のまちづくり参加度はトップレベル！



北地区の市民のまちづくりの参加度は総じて高い



市民・事業者と連携したまちづくりを進める生駒市のモデル！

北地区・生駒市のさらなる発展
に向け、「協創」のまちづくり
を進めましょう！

ご清聴ありがとうございました



II 質疑応答

